

11/22

## 加西市手をつなぐ育成会



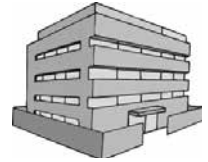
### 【NPO法人加西市手をつなぐ育成会】

主に、知的障がいをもつ人とその保護者、支援者で構成されています。手をつなぐ育成会は全国組織で、知的障がい者とその家族を支援するための活動を行う民間団体です。(人は誰も自分の持つ能力を伸ばそうとし、生きる喜びや感動を味わう権利を持っています。それは障がいを持つ人も同じです。障がいを『一つの個性』として認め、生まれた町で当たり前のように暮らしていけるように…そんな願いのもとで様々な活動をしています。)

- 障がいでも一番わかってもらえないのは知的障がいです。大きな声を出すとか飛び上がるなどのイメージだけでは伝わりにくいです。私たちのイベントに参加していただいたり、さりげない日常の子供たちを見たりして、寄り添う心やわかってやろうという気持ちを持ってほしい。
- なかなか企業就労につなげられないので、コミュニケーションがとれない子供たちの就労をフォローしてほしい。
- 加西市役所地域福祉課の窓口担当者の交代があり、子供の事情がわからなくなります。自立支援専門の職員がほしい。
- 歯の治療で全身麻酔をする際、1時間かけて市外の病院に通っています。市内でも口腔ケアが出来るところを充実させてほしい。
- 子供は、てんかんがひどい状態です。加西病院神経内科に常勤の先生がおられなくなったこともあり、遠方の病院に通っています。投薬や検査が近くの病院でできるようにお願いします。



○加西市内で宿泊できる障害者施設は、知的障害(希望の郷)、身体障害(ナーシングピア加西)、医療的ケア(きずな)のそれぞれ1カ所ずつです。北播磨の知的障害者施設は、多可町、三木市、加西市の3カ所ありますが、北播磨全域から加西市に利用希望者が来られるので、地元の方の受け入れが困難になってきており、緊急の場合の対応ができない状態です。



- 子供は知的障がい、大きな声を出したり夜中に起きたりする悪い状態が続き、親も精神的に続かなくなっています。宿泊できる施設に預けたいのですが、施設が少なく、遠い施設の利用は大変なので、加西市にも施設をつくってほしい。
- 宿泊できる施設の短期入所を利用したいという方が増えています。現在、国の施策で施設を建てる補助金が出なくなっています。国の施策を理由にせず、加西市としてどうするかを考えてほしい。加西市で無理なら一緒に声を上げてほしい。

○災害時の対応についてのアンケートの記入欄には「家で対応する。」と記入しますが、実際には、「外で迷惑をかけられない。」と思い、「避難所に行かないで家で我慢しよう。」と思う状況です。



- 災害時は、手をつなぐ育成会の全国組織から、薬等の支援はしてもらえますが、災害時の障がい者の避難場所がわからないので、マニュアルやネットワークを考えてほしい。
- 私たち親が高齢になり、子供を車で連れていけなくなった時のことを思うと不安です。
- 子供より一日でも長く生きたいと思っていますが、親が安心して子供を残して死ねる社会になってほしい。
- 皆さんの悩みは、私たち親が亡くなった後のことです。親亡き後の対策では遅く、今親が元気うちに考えないといけないと思います。
- 障がいがあってもなくても、みんな一緒に暮らせること。それが普通、自然である…そんな社会になればと思います。皆さんの理解が進んだら、もっと住みよい加西市になると思います。

